

タヒチと日本をつなぐフリーマガジン【タヒチ×ジャポン】

TJ

TAHITI×JAPON

Découvrez l'authenticité de l'île de Tahiti

特集

素顔のタヒチ島、体感！

朝一番でタヒチを楽しもう！ マルシェ情報

VOL. **10**

Take Free
Oyen



エア タヒチ スイなら成田から直行便で楽園タヒチへ。
日本を夕方に出発し、タヒチには朝に到着する体にやさしい運航スケジュールです。



Contents

Vol.10 2015

- 4 特集 **素顔のタヒチ島、体感!**
タヒチアンの日帰り旅行スポット
6 **自然の力強さを感じる タヒチ・イチの魅力に迫る**
タヒチ・ヌイの魅力を探る
12 **地元ガイドしか知らない おすすめの島内観光ルート**
伝統技術を守りタヒチを世界に広げる
14 **ヘイヴァ・リマイ注目のアイテム**
かごバッグに島の運命を託す
16 **日本人の心にも通ずる リマタラ島民の職人魂**
軽食からお土産品まで何でもアリ
18 **地元住民でゴった返す 日曜の朝マルシェは必見!**
- 22 Food **ホントに美味しい厳選レストラン** 本誌スタッフが食べ歩き!
26 Festival **100年の歴史を誇るチューライ祭って?** 観覧車にメリーゴーランド、舞台も並ぶ!
27 Music **TOA'URA** 楽曲もライブもタヒチ唯一の注目バンド
- 28 **Heiva i Tahiti**
32 Interview **マカウ・フォスター** タヒチアンダンス界の重鎮からのメッセージ
- 34 Interview **ドミニク・モルヴァン** 出版社 Créaprint、Univers Polynésiens 代表取締役
- 36 **旅に役立つ! タヒチの基礎知識**



[COVER STORY] Photo by Matareva
ラギヘレ・ルメルディ
類まれな才能を持つ子どもの語り部が各島から参加し、地元のストーリーを熱く語る小学生オレロ(語り部)コンクール2011で優勝。オレロは小学校の授業でも取り入れられており、タヒチの文化を再興させるきっかけの1つとなっている。

Executive Producer: Toru OISHI
Producer: Eiji ASAMI
Art Director: Izumi SAITO [rhythm inc.]

Editor: Eiji ASAMI / Ryusuke MURATA / Bill KIYUNA / Hideyuki SAEKI / Junichi ITO / Michio ETO / Yosuke HIRANO / Youichi HABUTO
Writer: Ryusuke MURATA / Bill KIYUNA
Translator: Ryusuke MURATA



Découvrez l'authenticité de l'île de Tahiti
素颜のタヒチ島、体感！

パペーテでショッピング、食事はルロットで——。
もちろんそれも楽しいけれど、それだけではもったいない！
地元タヒチアンおすすめの穴場からマルシェの活用術まで、
新たなタヒチ島の魅力をご紹介します！！

Photo by Zoltan Lengyel



タヒチアンの日帰り旅行スポット

自然の力強さを感じる タヒチ・イチの魅力に迫る

Text & Photo by Ryusuke MURATA

タヒチ島は、大小2つの島が繋がったヒョウタンのような形をしており、大きな方を「タヒチ・ヌイ」(大きなタヒチ)、小さな方を「タヒチ・イチ」(小さなタヒチ)と呼ぶ。首都はタヒチ・ヌイのパペーテ。ショッピング・宿泊施設が集中し、大半の観光客が宿泊地として利用している。

一方、プレスキル(フランス語で「半島」という呼称で知られるタヒチ・イチは自然の宝庫だ。サーフィンの世界大会が開催されるチョーボー地区は、パペーテから車で1時間ほど。タヒチが発祥のサーフィンは、部族

長など高い地位の人々の娯楽だったとも言われている。チョーボーの港から小型船に乗って世界一の波に接近することもできる。また、タヒチアンダンスのストーリーにも登場するヴァイボイリ洞窟があるテ・パリ地区も見所の1つ。草木をかき分けながら15分ほど歩みを進めていくと、幻想的な洞窟が目の前に広がり、ヒンヤリと透き通った洞窟内の池で泳ぐこともできる。こうしたタヒチ・イチの自然を満喫できるのが、ペンション・レヴァ・チョーボー(P10)のエクスカージョンだ。



ペンション・レヴァ・チョーボーの波止場を眺める。



プライベート・アイランド「モツ・テ・パリ」の風景。



レヴァ・チョーボーのマークさん(左2)と子どもたち。

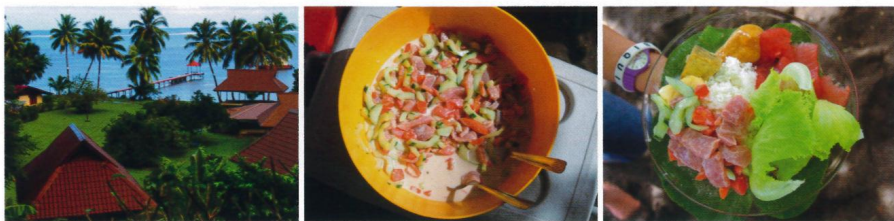
目の前に広がる絵葉書の世界

チョーポーの港を小型船で出航し、5分ほどでサーフスポットに到着する。さらに10分ほどタヒチ・イチを沿うように船を進めると、ペンション・レヴァ・チョーポーの波止場に到着する。海をバックにカップルや友人と写真を撮るだけでも気分はついつい高揚してしまう。



ヴァイポイリの洞窟にまつわる愛の伝説

大蛇が住んでいて誰も近付かなかったヴァイポイリの洞窟。部族長の奉公人だったヴェイは部族長の娘ヴェロを愛してしまう。ヴェイは危険な洞窟内に入り、大蛇を退治。洞窟内の岩の上にソファを用意してヴェロを迎え入れた。ヴェイの勇敢さに感服した部族長はヴェロとの結婚を許したのであった。



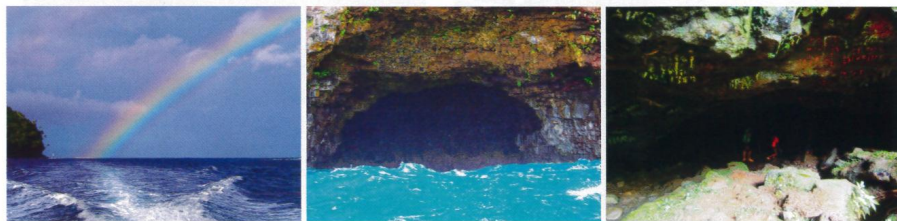
「本当のタヒチ」を感じられる場所

ペンションの敷地内には当たり前のようにパイナップルやマンゴーが実をつけ、ヤシの木が自生していて南国ムード満点。ランチにはタヒチ名物のボワソン・クリュ（ココナッツミルクベースのマグロのマリネ）を味わえる。



童心に返って自然と戯れる

ヴァイポイリの洞窟には直接船で行くことはできない。入口に船を停泊させ15分ほど草木をかき分けながら洞窟へと歩いて向かう。水をかけ合ったり、泥だらけになりながら進んで行くと、目の前に幻想的な洞窟が姿を現す。足元の悪い場所もあるので、汚れても問題のないサンダルを持参がおすすめ。



目まぐるしく変わる自然の表情

タヒチ・イチは山とも隣り合わせになっていて、気候が頻繁に変わる。爆々と輝く太陽、大地に潤いを与えるスコール、そして自然との橋渡しをしてくれる虹。巨大ヒトデの伝説で知られるヴァイトモアナの洞窟（写真中央）は、波が高いと船で近付けないこともある。

タヒチアンとの共通言語は笑顔

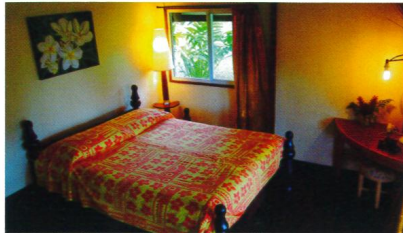
カップルや友人同士で楽しむ旅行も素晴らしいが、タヒチの旅行中には是非ともタヒチアンと触れ合ってほしい。英語やフランス語ができなくても、彼らの底抜けの明るさや笑顔で言葉の不安は解消される。言葉に不安がない場合は、ガイドに訪問地の歴史や名称の由来などを聞いてみるのも面白い。





タヒチ・イチのおすすめペンション

Pension Reva Teahupoo



エクスカージョンのみでもOK! タヒチ・イチ観光に至便なペンション

Text & Photo by Ryusuke MURATA

タヒチ・イチのチョーポー港に到着すると、オーナーのマークさんが小型船に乗り颯爽と登場。午前中のうちにチョーポー港へ到着し、エクスカージョンに参加するのがペンション・レヴァ・チョーポーの醍醐味である。(エクスカージョンの詳細はP7-9参照)

敷地内には合計12棟のバンガローが立ち並び、ホテル仕様の寝心地のよいベッドが設置しており、全室にシャワー・トイレが完備されている。

同ペンションのもう1つの魅力が食事。料理上手のオーナー夫妻が敷地内で収穫したオーガニックの野菜や

果物、そして近所の漁師が釣ってくる新鮮な魚をベースにボリュームたっぷりのマア・タヒチ(タヒチ料理)を提供してくれる。その他、ランチの後にハンモックでゆったりお昼寝などというのも、このペンションならではの贅沢だ。

通常の宿泊はもちろん、日中のみのステイ、エクスカージョンのみの参加など利用者のニーズに可能な限り応えてくれるので時間の限られている観光客にとっても非常にありがたい。タヒチ・イチを訪れる際はぜひ利用したいペンションである。

住所: Fenua Aihere, 98725 Teahupoo, TAHITI
Web: www.reva-teahupoo.org
Email: revateahupoo@gmail.com
1泊: 10,000~12,100 CFP (正規料金)
エクスカージョン: 3,500 CFP / 1人

Aremiti māuruuru raa

AREMITIでは、よりモダンにより個人的にタヒチアンダンサーを彩るコスチュームをご提案しております。
ベーシックなタヒチアンダンス用品からトレンドを織り込みながらも実用性を意識したリゾートウエアまで取り揃え、タヒチを愛する皆様のワードローブを追求するブランドです。

STORE: tokyo ebisu
CONTACT: info@tahitian-aremiti.com

詳しくはwebでCheck!
<http://aremiti.jp/>



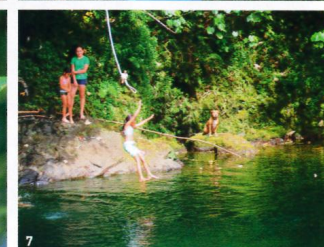
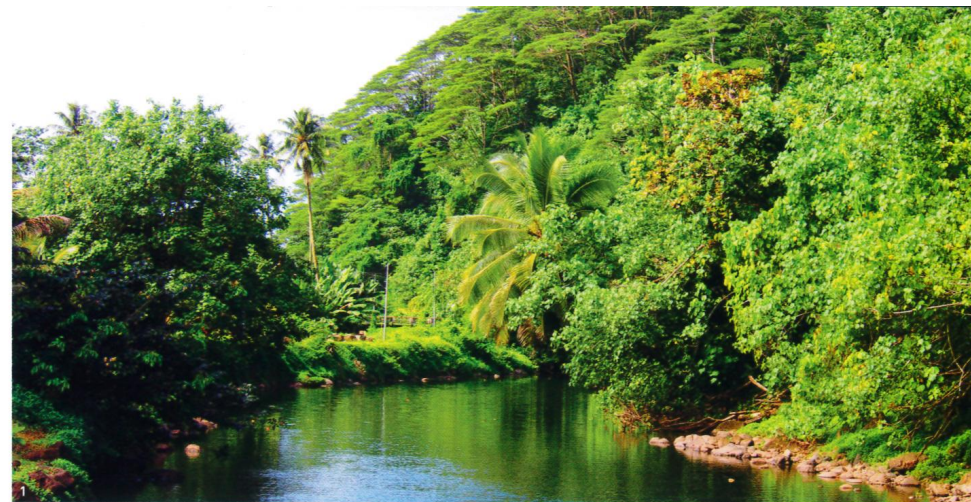
Modernistic Polynesian Costume Supply..

AREMITI
Tahitian Aremiti

タヒチ・ヌイの魅力を探る

地元ガイドしか知らない おすすめの 島内観光ルート

Photo by David Kirkland, Ryusuke MURATA Text by Ryusuke MURATA



1. ヒティア溪谷の川辺 2.3.4. ウルと呼ばれるパンの実 5. ウナギはタヒチの伝説にたびたび登場する神聖な生き物 6. かつては石炭代わりに使用されていたという「フラワーツープ」。赤い花を握りつぶすと液体が流れ出す 7. ヒティア溪谷の川で遊ぶ元気いっぱいの子どもたち

ベンション・ファレハウ (P20) では、宿泊者を対象にタヒチ・ヌイの島内観光を実施している (宿泊者以外も相談可)。定番コースに加え、オーナーのご主人が所有するヒティア地区の農園に立ち寄り、ウルを試食することもできる。ほのかに甘味がある素朴な味で、揚げるとフライドポテトのようにホクホクとして美味しい。

農園見学後は 4WD 車の荷台で揺られながら、色鮮や

かな花を横目にヒティア溪谷へ。運が良ければタヒチの伝説にも登場する巨大ウナギに遭遇することも。タヒチ島内でも非日常的な体験ができ、観光客の満足度も高いスポットだ。ヴァイバヒ植物園、タヒチアンおすすめの「クルール・カカオ」というショコラティエなども観光コースに含めることも可能で、男女問わず誰もが楽しめる内容である。



伝統技術を守りタヒチを世界に広げる

ヘイヴァ・リマイ注目のアイテム

Text & Photo by Ryusuke MURATA

2014年6月21日から7月14日まで、「進化」をテーマにピラエ地区のアオライ・ティニ・ハウ会場にて開催されたヘイヴァ・リマイ。タヒチの自立権確立30年を記念し、2014年は「アール・ポリネジアン」(タヒチの芸術)という名称のもと規模を拡大して開催された。籐、宝飾、刺繍、ティファイファイ(タヒチアンキルト)、装飾、彫刻など各分野のスペシャリストたち約400名がタヒチ島のみならず、離島からも数多く参加した。

Tapa

木の樹皮を根気よく叩き続けること約3日

タパ

布のない時代、タヒチの女性はパンの木の樹皮を水に浸して柔らかくしたものを、約3日間、棒で弾く叩き伸ばした「タパ」を衣服として身につけていた。タパは身につける人の地位も表すため、重要な儀式の際も欠かせない衣服として重宝されていた。現在ではタパの伝統技術はマルケサス諸島のファツヒバ島でのみ継承されている。



Tifaifai

タヒチアンが人生を共にすると言っても過言ではない

ティファイファイ

タヒチ語で「縫う」ことを意味するティファイファイ。18世紀以降にタヒチへ入植してきたキリスト教宣教師の妻たちが持ち込んだパッチワークからインスピレーションを得て、国花のティアレ・タヒチやウルなどのモチーフを用いて作られる。伝統的な結婚式や、お葬式でも使われるほど、ティファイファイはタヒチの生活に密着している。



Te taata
nuinga
i te pito
o'u

ライヴァヴァ工島の伝統継承を心から願う

彫刻

人口わずか900人のライヴァヴァ工島は太平洋で最も美しい「地上の楽園」とも評され、またタヒチ語でヴァアと呼ばれるアウトリガーカーヌーやティキを手作業で作られている島でもある。写真はバラの木材を原材料として使用したヴァアのミニチュア。これだけの繊細な作業を行える後進が島内で育っていないことが悩みの種と職人は語ってくれた。



Te taata
nuinga
i niue i te pito
o'u

《番外編》期待の若手職人

貝彫

ヘイヴァ・リマイを含めタヒチ内での展示会に参加経験がない期待の若手職人ウィリアム・タミさん。決して裕福ではない家庭で育った彼は13歳で進学を諦め、独学で貝彫をマスター。黒蝶貝などに数ミリ単位でデザインを彫り込む。光熱費が払えるくらい商品が売ればと控えめなタミさんであるが、「自分の作品を海外の人にも知ってもらいたい」という大きな夢も。





かごバッグに島の運命を託す

日本人の心にも通ずる リマタラ島民の職人魂

Text & Photo by Ryusuke MURATA

オーストラル諸島に位置するリマタラ島は、1811年にヨーロッパ人に発見された最後の島。島には「ウラ」と呼ばれる珍しい小島が生息する。主要産業は籐製品や貝殻アクセサリの製作・販売。リマタラの工芸がリマタラの文化を表現し、島民たちの支えとなっている。籐製品は、パンダナスの葉を裁断し、乾燥させたものを編み込んで作られる。製品化させる上で天敵となるのが雨、湿気、風。作業中に雨風が吹くとパンダナスに裂傷が生じたり、腐敗が進む原因となる。このように手間暇が掛けられている上に、リマタラで作られる籐製品はデザインが洗練されているため、タヒチ本島でも人気が高い。さらにすべてが1点ものため、ヘイヴァ・リマイにはなるべく早めの来場をおすすめする。



リマタラ島工芸職人協会のイアエラさん。2014年9月には東京・お台場「タヒチ・フェスタ2014」への初出展も果たし、タヒチ産工芸品輸出の先駆的存在。



ヘイヴァ・リマイのリマタラ島のブース。パンダナスの葉を乾燥させた原材料を編み込んで作った商品がとことろ狭しと並ぶ。



リマタラ島は人口900人ほどの小島。老若男女問わず島民の大半が伝統工芸に携わっており、工芸品の製作が島の唯一とも言える収入源となっている。



リマタラの島民にとって工芸品製作は生活の一部。会期中も時間さえあれば現地から持ち込んだ貝殻やパンダナスのロールを切り崩し、黙々と商品作りに没頭する姿が至るところで見られた。



パンダナスをレモンと天然石鹸で煮詰めて脱色することで白色系の色を表現。茶系の色はパンダナスを松ヤニと煮詰めて着色している。織維（写真中央）はココナッツが原材料。



軽食からお土産品まで何でもアリ

地元住民でごった返す 日曜の朝マルシェは必見！

Text by Toru OISHI Photo by Ryusuke MURATA

カラフルな魚、多彩なフルーツ、サンドイッチ、お惣菜、雑貨、工芸品——タヒチでの「生活」に関わるすべての物が集まる場所、マルシェ。朝4時から5時頃にオープンし、早朝から地元住民たちが賑わっている。

本来のマルシェの姿を見に行くのであれば、日曜日がおすすめ。日曜はマルシェ周辺の道は通行止めとなり、出店が立ち並ぶ。ふだんよりも早い午前3時頃のオープンだが、待ちきれずに品出し中の商品を手にとって買い物を始める人もいる。島民がみな集まっているの

ではないかと思わせるほどの賑わいだ。

マルシェの中や外の道には、フィリフィリ（揚げココナツパン）を販売するワゴンがたくさん。タヒチの日曜の朝はマルシェで買い物をし、フィリフィリを持ち帰り、カフェオレでいただくことから始まる。また、島には華僑も多いため中華惣菜の屋台も多い。人気のチャーシュー店は長蛇の列で、2時間もすれば品切れになることも。こうしたタヒチの様々な顔を見ることができるマルシェ。早起きして、散歩がてら訪れてみてほしい。



C'est si bon!!

マルシェ内の屋台では、チャーシュー（写真右）やシューマイなど中華惣菜がねらい目！人気店には長蛇の列ができていますので、その行列を目印にタヒチならではのチャーシューをゲットしよう。サトウキビから作るフレッシュジュースもおすすめ。






タヒチ・ヌイのおすすめペンション

Pension Fare Hau



タヒチアンカルチャーを味わうのであればレイや王冠作り、タヒチ名物のボワソン・クリュ(ココナッツミルク風味のマグロのマリネ)作りを体験することもできる。所要時間はいずれも1時間ほどなので、ぜひ体験してほしい。ボワソン・クリュ作り:2,800 CFP / 1食(2~3名) 王冠作り:2,500 CFP/名(5名以下)、1,500 CFP/名(5名以上)

ホテル泊では味わえないおもてなし オプションツアーも魅力的!

Text & Photo by Ryusuke MURATA

ファアア国際空港では、オーナーのアニータさんがレイを持って迎えてくれる。車で小高い丘に向かって走ること約5分、ペンション・ファレハウに到着する。

施設内は清掃が行き届いており、各部屋にはアニータさんが丁寧に縫い込んだタヒチアンキルトの鮮やかなシートが使用されている。朝食はシンプルではあるがバゲットやコーヒーの他に、マンゴーやパイナップルなどトロピカルフルーツも充実しており、十分に満足できる。ペンションからの眺望もコバルトブルーの海へと沈む夕日が印象的だ。

パペーテの中心街までは車で10分ほど。前日までにお願いしておけば、タクシーより安価な送迎サービスも利用できる。また、オプションツアーのタヒチ・ヌイ観光(P12-13参照)では、私有地の広大な畑でのんびりしたり、4WD車の荷台に乗って植物をかき分けながらの散策が楽しめる。

アニータさんと娘のモエラニさんの精一杯のおもてなしは、ホテルのサービスとは異なるタヒチアン特有の温かさや優しさを感じることができる。タヒチ旅行の大切な思い出の1つとなるに違いない。

住所: BP62020 - 98703 FAA'A Centre - TAHITI
Web: www.fare-hau.pf
Email: farehau@mail.pf
1泊: 8,500~11,500 CFP (正規料金)



Polynesiaの伝統文化
“TATAU”との出会い

TATTOO STUDIO Tiare Yokohama



女性アーティストによるオリジナルデザインを作成します
初めての方でも安心なサポートシステムです
ご相談・お問い合わせは お気軽に下記までご連絡ください

横浜市中央区日本大通り studio_tiare@yahoo.co.jp
080-6786-5511 <http://tiare.is-mine.net/>

本誌スタッフが食べ歩き!

ホントに美味しい厳選レストラン

Text & Photo by Ryusuke MURATA

L'O à la Bouche ロアラブッシュ



ふっくら、マヒマヒのロースト

タヒチアン押しのレストラン。注目の一品は、タヒチヤハワイでは高級魚として知られるマヒマヒのロースト (Dos de Mahimahi laqué au miel et soja)。脂質が少なくバサつきやすいマヒマヒだが、ソテーして焼き目を付けた後にオープンでローストすることで、ふっくらとジューシーに仕上げている。キャラメリゼされた醤油とはちみつのクリーミーソースとの相性も抜群だ。



住所: Passage Cardella, 98713 Papeete
営業時間: 月~金 11:30-14:00 / 19:00-22:00, 土 16:00-22:00
定休日: 日
電話: +689 40 45 29 76

Star Studio スター・ステュディオ



エビとココナッツの絶品カレー

パペーテ中心部に位置するこの店のおすすめは、エビのココナッツカレー (Les Crevettes au curry de lait de coco)。タハア産の肉厚なココナッツからしぼった濃厚なココナッツミルクをたっぷり使用したカレーはまろやかで、ふりっぴりのエビとの相性は抜群。思わず最後の最後までバゲットでカレーをすくってしまう美味しさだ。



住所: Centre Commercial Aline, 98713 Papeete
営業時間: 月~金 6:00-15:00, 土 6:00-12:00
定休日: 日
電話: +689 40 45 30 13

Bulle de Saveurs ビュール・ド・サヴァール



胃にやさしいヘルシーメニューならココ

定番のボワソ・クリュや肉料理も美味しいが、豊富なサラダメニューや日替わりのダイエットメニューが用意されているのがこのレストランの特徴。おすすめは新鮮な野菜にタヒチ産のマグロやエイと呼ばれる調理用バナナなどを散りばめたタヒチアンサラダ (Salade Tahitienne)。タヒチ旅行の後半、胃に疲れが出てきたときの強い味方だ。



住所: Rez-de-chaussée | Immeuble Le Bihan, 98716 Pirae
営業時間: 月~金 7:00-17:30, 土 6:30-14:00
定休日: 日
電話: +689 40 48 02 28

Heiva
Made in Tahiti
Les secrets de beauté de Tahiti
Monoï de Tahiti
Appellation d'Origine
Tiare
150 ML 5.1 FL OZ

ポリネシア人古来の知恵、モノイオイル

Monoï de Tahiti
モノイ・ドゥ・タヒチ

太古の昔からポリネシアで、伝統的に使われているモノイオイル。聖なるものを清めたり、タヒチアンの日常生活では様々な用途に使われていたりしています。ティアレやココナッツなどタヒチを象徴する植物を成分とし、ボディオイルとして、アロマとして、ポリネシアの人々の身体と心を癒し、よみがえらせてくれます。

全14種類 ティアレ・ティパニエ・オーキッド・ココナッツ・パニラ・ローズ・パッションフルーツ・グアバ・ジャスミン・パイナップル・アブラブフルーツ・イランイラン・バンブー・バブルガム

お問い合わせ 株式会社タヒチプロモーション ☎045-321-0693 インターネットでご購入はコチラ <http://tahiti.co.jp>

タヒチの思い出を、タヒチの切手とともに...

下記OPT(郵便局)にてお求めいただけます。
Papeete支店 (Hotel Tiare付近)、Tamanu支店 (Hotel Meridien付近)、
Carrefour Punaaua (Hotel Intercontinental付近)、Arue支店 (Hotel Radisson付近)、Aéroport Faa'a (空港内)

www.opt-pf
OPT

Office des Postes et Télécommunications - Polynésie française

タヒチ・パール・マーケットがお届けするタヒチアンパール



大冒険の始まり

タヒチアンパールはその素晴らしい色彩で知られています。この宝石の真の美しさは、ツアモツ諸島の自然のままのラグーンや、バラエティーに富んだ母貝、真珠養殖業者の高い技術によって生まれます。

タヒチ・パール・マーケットのオーナー、フランク・テハアマタイがタヒチアンパールに魅了されたのは、1994年ツアモツ諸島に向いた時でした。起業家として鋭い洞察力を持ち、熱血漢であった彼は以後、真珠産業の改革と発展に取り組み、今日ではタヒチ真珠業界の押しも押されぬリーダーの一人となりました。



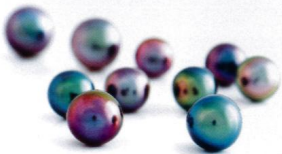
タヒチアンパールのすべてを集めたタヒチ・パール・マーケット



タヒチアンパールに限りない情熱を注ぐフランク・テハアマタイは、いつの日か自分の店舗を持ち、彼の養殖場から毎回浜揚げされる何千個という真珠の魅力を、彼の店を訪れるお客様と分かち合いたいと願ってきました。そして実現したのが真珠専門店「タヒチ・パール・マーケット」です。そこでは多数の真珠の中から、お客様お気に入りの真珠と台座をお選びいただき、お客様ご自身のオリジナル・ジュエリーをお創りするという新しいコンセプトを打ち出しました。ご来店のお客様のために、よりエレガントで、よりシックなジュエリーを提供できるよう「タヒチ・パール・マーケット」のスタッフがお手伝い致します。ぜひ一度、タヒチ、ボラボラ、タハア、ランギロアにある「タヒチ・パール・マーケット」で、太平洋の宝石と呼ばれるタヒチアンパールの不思議な魅力との出会いを体験してみてください。

お客様のイメージ通りのジュエリーを創ってみませんか

「タヒチ・パール・マーケット」では、お客様のご希望にかかった真珠と台座を選んでいただくという、当店独自のコンセプトを楽しんでいただいております。真珠はもとより、ゴールド、ホワイトゴールド、シルバーなどのチェーンやリングなども豊富に取り揃え、お客様だけのオリジナル・ネックレス、ペンダント、ブレスレット、ピアス、指輪などをお創り致します。どうぞぜひ一度お試しください。



VISIT US ON OUR WEBSITE

TAHITI PEARL MARKET

J E W E L L E R Y • P E A R L E R Y
The Most Beautiful Pearls in the World



Every Woman
Deserves
Tahitian Pearls

Pearl Farmer since 1994



TAHITI • 25, rue Colette, Papeete - (689) 40 54 30 60 • 349, Boulevard Pomare, Papeete - (689) 40 50 09 80
RANGIROA • Hotel Kia Ora - (689) 40 96 02 22
TAHA'A • Taha'a Island Resort & Spa - (689) 40 60 84 00
BORA BORA • Vaitape - (689) 40 60 59 00 • Sofitel Marara - (689) 40 67 60 37 • Le Meridien - (689) 40 60 51 00
HEURES D'OUVERTURE • Lundi à Samedi de 09h00 à 17h30
OUVERT DIMANCHE • Horaires d'ouverture varient selon les boutiques



U.S. dollars, Japanese yen, and travellers' checks accepted

UNE NAVETTE EST A VOTRE DISPOSITION

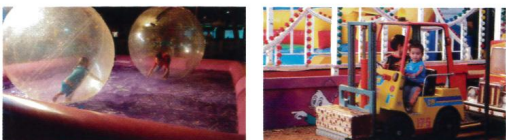
www.tahitipearlmarket.com JOIN US ON f b

*On VAT only

観覧車にメリーゴーランド、屋台も並ぶ！

100年の歴史を誇る チューライ祭ってどんなお祭り？

Text & Photo by Ryusuke MURATA



夕日が傾くにつれて賑わいを見せ始めるチューライ祭。日本ではお馴染みのアトラクションやゲーム機も数多く設置されている。回転が速めの観覧車にも注目(笑)。子どもたちの笑顔を見に行ったつもりが、ついつい童心に帰って遊んでしまうかもしれない。

1年に一度、タヒチ島に期間限定の遊園地が出現するお祭りがある。メリーゴーランドや観覧車といったアトラクションのほかに屋台も立ち並び、チューライ祭だ。自然には恵まれているものの娯楽施設が少ないタヒチにおいて、このチューライ祭は地元の子どもたちが毎年待ち望む一大イベントである。

チューライ (Tiurai) とは7月のこと。その名の通り、もともとチューライ祭は7月に催されていたが、現在は学校の休みに合わせて子どもと大人と一緒に来られるように、6月5日から8月中旬まで開催されている。国際空港があるファアア地区のチューライ祭責任者アンリネット・ハンターさんは、祭りについてこう語る。「チューライ祭は100年ほど続いていると言われていて。昔は滑り台など簡易的なアトラクションが数台あっただけでしたが、子どもたちの屈託のない笑顔だけは、昔も今もずっと同じですね」

また、チューライ祭の売上金をもとに、タヒチの恵まれない子どもたちへの支援も行われているという。「会期中に集めた資金の一部で、ファアア地区の子どもたちにクリスマスプレゼントをしています。区役所もお菓子を配るなど、この活動に協力してくれています」とハンターさん。

長い間タヒチアンに愛されてきたチューライ祭。同時開催の Heiva i Tahiti とともに必見だ。



ファアア地区チューライ祭責任者
アンリネット・ハンター

Henrinette Hunter

「チューライ祭は Heiva i Tahiti を補完するような役割も担っていると思います。Heiva のダンスを鑑賞することはもちろん素晴らしいことですが、チューライにも立ち寄っていただいで、タヒチの違った一面を感じていただきたいですね」

Tiurai

伝統的な楽器とダンス ポリネシア語の歌詞—— 誰しものが魅了される タヒチ随一のバンド

Photo by Rodney, Bill 97 Text by Bill 97

数あるタヒチアンバンドの中でも、楽曲はもちろん、ライブの完成度がこれほどまでに高いバンドはないだろう。そのバンドの名は TOA'URA。楽曲は Reo mā'ohi (ポリネシアン言語) で歌われ、Vivo (鼻笛) や To'ere (打楽器) といったポリネシアの伝統的な楽器、専属のダンサーが歌に彩りを添える。メロディーは日本人にも親しみやすく心地よい。ハワイ在住の人気アーティスト O-Shen のカバーがきっかけでヒットした「Anapanapa」、2013年に大ヒットした「O To'u la Hiro'a」などは、タヒチで知らない者はいないだろう。2014年にはオセアニア全域のアーティストで結成された「OCEANIA ALL STARS」にタヒチ代表として参加。まさに国内外で活躍している注目のグループである。



Billおすすめの3枚



O TO'U LA HIRO'A



TE AHI MO'A



TIARE 'URA



Bill 97

タヒチで携わっていたガイド業の経験を生かし、タヒチ関連のイベントをはじめ、ラジオ番組のMCとしても活躍。現在、FM NORTH WAVE「TAHITI X JAPON」、RN2「TAHITI STYLE」に出演し、合い言葉「もちろんです!!」が話題を呼んでいる。タヒチアンミュージックに精通しており、日本にタヒチアンミュージックを広めるべく、プロモーターとしても活動中。

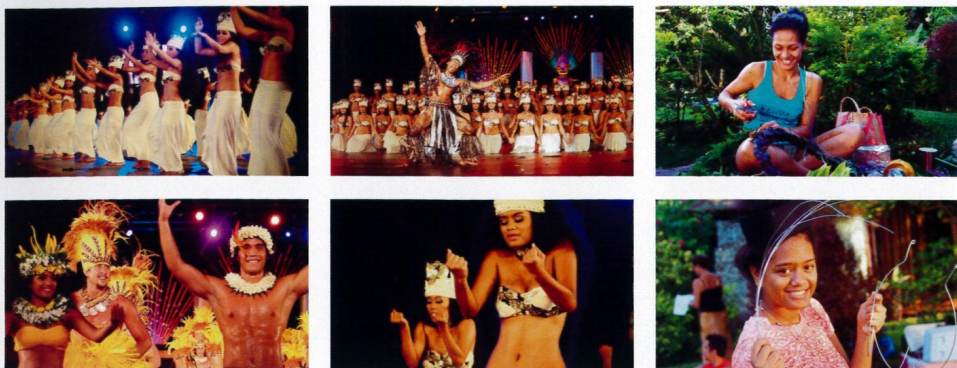
TOA'URA



Heiva i Tahiti

タヒチアンダンスのグループが一堂に会する Heiva i Tahiti。
華やかで力強いパフォーマンスを披露し競い合う。
真のタヒチアンダンスと音楽が、ここにある。

Photo by Zoltan Lengyel



タヒチ最大の祭典 Heiva i Tahiti

Text by Toru OISHI Photo by Ryusuke MURATA

2015年で133回目を迎えるタヒチの伝統的な祭典、Heiva i Tahiti。毎年6月から7月中旬まで行われる一大イベントで、その期間は街中が花や緑で飾られ、いたるところで様々な催事が行われる。その1つが、カヌーレースや槍投げ、フルーツ運び競争、石重量挙げ、ココナッツの早削りといった競技種目。いずれも昔からタヒチアンの日常生活で行われていたものだ。

カヌーレースは、カヌーの横に浮きのようなものが付いた「アウトリガーカヌー」を使って行われる。外洋でも安定して走行できるため、男性のみならず、女性や子どもも出場し、参加総勢1500人近くの盛り上がりを見せる。また、参加者たちはパレオや花の頭飾りでお祭り気分を盛り上げることが決められている。槍投げは、20メートル先の高い棒の上に置かれたココナッツを目がけて、竹の槍を下からすくうように投げる競技。簡単そうに見えるが、槍はなかなか真直ぐには飛ばない。

また、ココナッツの早削りはタヒチの主な輸出資源であるコプラを採取する作業工程の一つ。電気など使わず、自分の手を使いテコの原理を利用して器用にココナッツ

の白い果肉を削り取っていく。これが日本でも話題になっているココナッツオイルの原料となり、さらにはマーガリンや石鹸、コスメの原料などにも利用される。

このようにHeiva i Tahitiでは様々な競技が行われるが、その中でとりわけ人気なのが、パペーテのトアタ広場で行われるダンス競技である。

100名前後のダンサーと20名ほどのミュージシャンが、30メートル四方のステージで踊り、演奏をする。オテア・アバリマ・パオア・ヒビナウなど決められた踊りの構成を織り込みながら、それぞれのチームのテーマを表現していく。

タヒチアンダンスは、タヒチアンのアイデンティティそのもの。これからも受け継がれていく大切な文化である。現在、タヒチアンダンスは世界各国に広がりを見せ、タヒチ国外でタヒチアンダンスが踊られる機会は増えつつある。だからこそHeiva i Tahitiで真の踊り、音楽に触れてほしい。Heivaでの様々なパフォーマンスを通して、古来連続と続くタヒチの文化、そしてポリネシアの歴史や文化が肌感覚で伝わってくるはずだ。



タヒチアンダンス界の重鎮からのメッセージ

「Heivaは私にとって心の鼓動。 伝統的なダンスを伝えることが私の役割」

Text & Photo by Ryusuke MURATA



—近年のHeiva i Tahitiの印象は？

年々モダン化の傾向にありますね。複雑な踊りが目立つようになり、ショーとしては魅力が出てきていると思います。ただその一方で、伝統が衰退しつつあるのを感じます。タヒチ語を話せるタヒチアンがどんどん減ってきている今、若い人がモダンな方向に進むのは無理ありませんが、伝統は必ず守っていかなければなりません。ダンスはタヒチの文化遺産であり、Heivaは私にとって心の鼓動です。伝統的なタヒチアンダンスを伝えることは、私の役割だと思っています。

—Heivaからは引退されるそうですね

私ももうすぐ60歳という節目の年を迎えようとしています。人というのはどこかで区切りをつけないければなりません。今後は故郷のツアモツで家族と過ごす時間を作りたいと思っていますが、これからもダンスは教えていくつもりです。

—ダンスを伝える上で注意していることは？

規律を守り、文化を尊重することです。そして、人に従うということをまず学ばなければなりません。熱意をもって取り組むことで、自然と話を聞くようになり、自然と学べる体勢ができてくるのです。私も勉強の毎日です。いまだに新たな発見があります。タヒチアンダンスは生きているのですから、ダンスの上達とともにダンサー自身も成長していかなければなりません。自信を持つことは大切ですが、過信は禁物です。

—外国でもタヒチアンダンスは広がっていますね

タヒチアンダンスを学びたい人であれば、私は誰でも歓迎します。過去に間違えてダンスを覚えているようであれば直しますし、ダンスを習ったことがなければ私が1から基礎を教えます。いづれにせよ、ダンスという文化を分かち合いたいと強く思うのです。文化を伝承していく上で、伝える人を限定してはいけません。意欲のある人には積極的に伝えていくべきだと思いますね。



「タマリキ・ボエラニでダンスを学ぶのであれば、先祖代々伝えられてきた私の経験と教育法を皆さんに伝えたいと思っています。こうして伝統を後世に伝えていくことが、タマリキ・ボエラニの役割だと思っています」(マカウ・フォスター)

Makau Foster

ROTUI

TOUT LE PLAISIR DU FRUIT *Tahiti*

南国タヒチからの
最高級パイナップルジュース

TAHITI PROMOTION 株式会社タヒチプロモーション 〒221-0844 神奈川県横浜市神奈川区沢渡3-1 東興ビル2F TEL:045-321-0693 http://tahiti.co.jp

タヒチプロモーション 検索

TOPDIVE
TAHITI MOOREA BORA BORA
RANGIROA FAKARAVA TIKEHAU

PASS GOLD
P1000
インターアイランドパス

ダイバーの楽園タヒチで
トップタイプと夢の水中散策。
6島・11店舗にて展開。

同誌ご持参で10%OFF
他のディスカウントとは共用できません

www.topdive.com - japan@topdive.com

Dominique Morvan

経済誌「Dixit」編集長

出版社 Créaprint 代表取締役

出版社 Univers Polynésiens 代表取締役



「工芸職人の技術や伝統、そして生き方について、タヒチの後世や海外の人に伝えたい」

Text & Photo by Ryusuke MURATA

フランスのソルボンヌ大学を卒業後、パリの新聞社に勤務。その後タヒチへ戻り、出版社 Univers Polynésiens、Créaprint の 2 社を立ち上げたドミニク・モルヴァンさん。ジャーナリスティックな視点で語るタヒチの現状やフランス領ポリネシアの文化的魅力とは？

——パリからタヒチへ、戻られた理由は？

やはり南国の雰囲気や忘れることができなかったことが大きいです。ビルとビルの間から必死になって青空を探していました（笑）。タヒチの人た

ちの温かさや優しさが恋しくなっていたのだと思います。日本の方々のメンタリティーもタヒチアンと似ているのではないのでしょうか。考古学者の一説によると、タヒチ人の祖先は台湾からの移民

であるとも言われています。つまりタヒチアンの考え方にはアジア特有の人を思いやる精神があるのかもしれません。

——タヒチでは出版社を 2 社立ち上げましたね

タヒチ人はあまり読書を好まない傾向にあります。そのため、Créaprint 社で出している本はヴィジュアル要素を多めにしてしています。もう 1 つ、Univers Polynésiens 社では、人にプレゼントしたくなる書籍作りを目指しています。例えば表紙をキルト上に加工するなどひと手間を加えることで、多くの女性が書籍を手にとってくれるようになりました。このあたりは女性ならではの感覚かもしれません。

——タヒチは女性の社会進出が著しいようですね

タヒチの大学生の 70% は女性です。企業のオフィスで働いている多くは女性ですね。幹部クラスにもかなり割合を女性が占めていますし、その割合はここ数年でさらに上昇しました。警察署長は女性ですし、裁判官も多くの女性が活躍しています。病院では女医の数が増えています。ヨーロッパも似たような傾向がありますが、タヒチの女性の社会進出は極めて顕著ですね。

——女性が働きやすい環境にあるのでしょうか？

ヨーロッパではベビーシッターの活用が一般的ですが、タヒチでは家の祖父母が子どもの面倒を見てくれます。また保育所も充実していて、預かるだけでなく、保育所が休みの日も子どもたちがプールやサーフィンのアクティビティに参加できるなど、見方によってはヨーロッパ以上に進んでいます。

——いま注目しているテーマは何ですか？

本を通して、「工芸職人」をさらにクローズアップしたいですね。フランス領ポリネシアは 5 つの諸島に多くの島々が広がっていますが、各諸島でまったく異なる文化を見せてくれます。



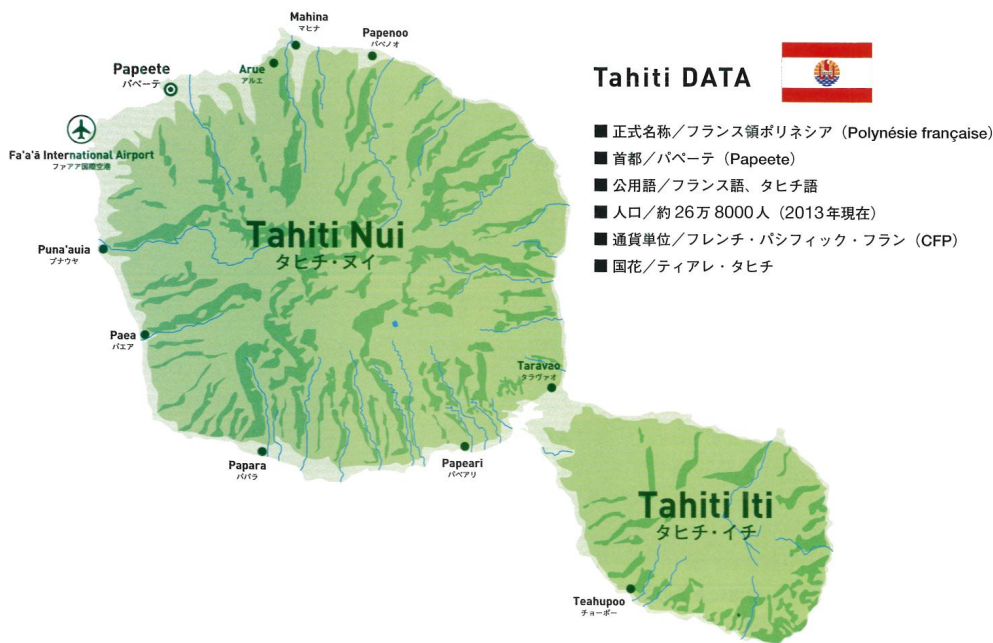
経済誌「Dixit」は 2014 年に 30 周年を迎えた。

なかでもオーストラル諸島のリマタラ島の籐製品（P16 参照）は、目を見張るものがあります。とにかく、編み込みが繊細です。リマタラという自然豊かな環境でしかできない作業でしょう。日常に編み物が入り込んでいる、もっと言えば編み物は彼らにとって瞑想の域にあるのかもしれませんが。アジアでお坊さんがお経を読み、座禅を組み、雑念や邪念を排除していくように、彼らは籐製品を作る。つまり編み物を作ることで精神統一を自然と行っているのではないかと思います。ひとつの芸術を完成させるには集中力も必要ですし、また集中するために彼ら自身も自らの世界に入り込んでいる様子も伝わってきますね。ですから工芸職人の技術や伝統、そして生き方について、タヒチの後世や海外の人にもぜひ伝えたいと思っています。

Profile Dominique Morvan ドミニク・モルヴァン

1958 年生まれ。フランスの名門ソルボンヌ大学卒業後は新聞記者として活動。タヒチに戻り、日刊紙 Le Dépêche 紙を経て、タヒチ観光局の機関紙編集に携わる。1988 年に Créaprint 社を設立。経済誌「Dixit」の編集長に就任し、単調だったレイアウトから抜本的に改革。2003 年には Univers Polynésiens 社を設立。本の手廻りなど細部へのこだわりと女性目線の編集で、刊行書籍は会社設立以降すべて増刷している。

タヒチの基礎知識



Tahiti DATA



- 正式名称/フランス領ポリネシア (Polynésie française)
- 首都/パペーテ (Papeete)
- 公用語/フランス語、タヒチ語
- 人口/約 26万 8000人 (2013年現在)
- 通貨単位/フレンチ・パシフィック・フラン (CFP)
- 国花/ティアレ・タヒチ

◎タヒチとその島々

フランス領ポリネシア(タヒチ)は118の島々から成り、タヒチ島が属するソシエテ諸島をはじめ、マルケサス諸島、ツアモツ諸島、オーストラル諸島、ガンビエ諸島の5つの諸島群に分かれています。

◎時差

日本より19時間遅れです。日本時間からタヒチの現地時間を計算するには、「日本時間に5時間足し、日付を1日遅らせる」と簡単。例えば、日本時間が月曜日の昼12時の場合、タヒチの現地時間は日曜日の午後5時になります。

◎気候

タヒチとその島々は亜熱帯海洋性気候に属し、年間の平均気温が27℃、海水温の平均が26℃という「常夏の楽園」です。南半球にあるタヒチは11月から3月にかけて真夏にあたり、咲き乱れる美しい南国の花々を楽しむことができます。

TIPS

乾季は上着持参が無難!
乾季となる4月から10月は、夜は少し肌寒いこともあります。夕食などに出かける際は1枚上着を持っていくとよいでしょう。

◎言葉

公用語はフランス語とタヒチ語ですが、ホテルやレストラン、大きな土産物店などでは英語も通じます。また免税品店やダイビングショップ、高級リゾートなどには日本人、もしくは日本語を話せるスタッフがいたりもします。

TIPS

タヒチ語を話してみよう!
「イアオラナ」(こんにちは) / 「マルル」(ありがとう) / 「マヌイヤ」(乾杯) / 「ナナ」(さようなら)などを覚えておくとう便利!

◎水

基本的に水道水は飲めますが、ランギロア島のような珊瑚礁の島ではミネラルウォーターがおすすめです。タヒチ産のミネラルウォーターはどこでも購入できます。

TIPS

炭酸入りに注意!
同じ銘柄のミネラルウォーターで炭酸入り(ガス入り)のものもあるので、ガス入りのミネラルウォーターが苦手な人は注意。

◎電圧とプラグ

電圧は220V、60Hz。プラグタイプはAもしくはC。日本から電化製品を持っていく場合は、変圧器とCタイプのアダプターが必要となります。



TIPS

アダプターはレンタル可
220Vまで対応可能な電化製品の場合は、プラグのアダプターさえ持っていけば変圧器は必要ありません。アダプターは、ほとんどのホテルのレセプションでレンタルできますが、数に限りがあるので注意しましょう。

◎両替

各銀行の支店や自動両替機で両替は可能ですが、ほとんどの銀行で金額に関係なく両替手数料がかかります。また、リゾートホテルでの両替は、レートはあまりよくない代わりに手数料がかからないので、少額の両替はホテルがおすすめです。

TIPS

クレジットカードは使える?
ほとんどの場所でクレジットカードは使えます。ただし日本のカードとタヒチの読み取り機械の相性が合わない場合もあるので、できれば2~3枚持っていた方がよいでしょう。カードの種類は、Visa、Master、Amexなどが主流です。

◎トイレ

日本のように一般開放されているトイレは少ないので、外出する前は宿泊先で済ませておくのが無難です。パペーテ市内のショッピングモールのトイレは基本的にカギが閉まっているので、店の人にカギを借りなくてはなりません。

TIPS

公衆トイレ事情は?
パペーテでも利用できる公衆トイレは、マルシェ、観光局横、郵便局横の公園内のトイレの3カ所がメインです。利用の際はティッシュ持参が無難。

◎チップ

基本的にチップの習慣はありませんので、不要です。その代わりに日本のお菓子を渡すと喜ばれます。



◎ビジネスアワー

※以下は一般的な営業時間の目安。各店によって時間は多少異なります。

■ レストラン

月曜から土曜 11:00~14:00、18:00~22:00。ほとんどのお店で、ランチタイム終了後はディナータイムまでクローズ。日曜や祝日、月曜が定休の店も多い。

■ ショッピング

月曜から金曜 8:00前後~17:00前後。毎日営業している店も多いが、日曜・祝日が定休のところもあるので注意。またお昼に2時間ほど休憩する店もあります。

■ 銀行

月曜から金曜 8:00~15:30(場所によってはもう少し遅くまで営業している銀行もあり)。土曜・日曜・祝日は休み。





一杯でリゾート!
ALOHA TIKITIKI
店内に入れば
そこはもうハワイ!!

「癒しのハワイ」をコンセプトにしたテーマダイニング。南国情緒たっぷりの店内で見るフラ&タヒチアンダンスショーと色鮮やかなトロピカルカクテルの数々。ティキティキは一杯でリゾート気分になれる本格的リゾートダイニングです。

バンド演奏可!
食事もお楽しみ承ります!

**各種発表会など
会場にどうぞ!!**

ハワイアンカルチャースクール・フラハラウ・ハワイアンバンドの皆様へ各種発表会、フラパーティなどの会場にどうぞ!!

音楽映像設備使用料無料、DVD・CD・MDプレイヤー完備
スクリーン・マイク等、各種無料
他、DVD・CD・MD、機材等の持ち込みも自由です。
※是非、下記にご来店ください。その他、お気軽にご相談ください。

ティキティキ 横浜店 Tel. [予約電話受付12:00~] 045-312-3397

神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1
相鉄岩崎学園ビルB1F
【営業時間】 月~金 17:00~23:30(金~24:00)
土・日・祝 16:00~23:00(土・日・祝~24:00)
【定休日】 年中無休(12/31~1/3は除く)
<http://r.gnavi.co.jp/g851564/>
ご予約受付中! ※150名様

ティキティキ 新宿店 Tel. [予約電話受付12:00~] 03-3226-0996

東京都新宿区新宿3-4-8
京王プラザテニュー3丁目4F
【営業時間】 17:00~23:30
【定休日】 年末年始2月・8月のビル休館日
<http://r.gnavi.co.jp/g682224/>
ご予約受付中! ※300名様

全品 30% OFF

※店内にてお食事された方対象。
※他券との併用不可。
※ティキタイムのみ有効。
※1グループ1枚でOK。
※割引上限5,000円(税込)まで。
※有効期限:2016年4月30日

9月シルバーウィークにタヒチの笑顔がお台場に届く!!

Tahiti Festa 2015
お台場VenusFort

入場無料

2015年9月 19 Sat 20 Sun 21 Mon 22 Tue 23 Wed
11:00-21:00

©KURIYAMA YOSHIKATSU

笑顔! タヒチからの贈り物。

言葉を奪う衝撃! 本場のタヒチアンダンスが今ここに!

TAHITI ORA Heiva I Tahiti 2011, 2014総合優勝を果たすなど輝かしい実績を誇るタヒチを代表するダンスグループ(TAHITI ORA)が今年も出演決定! 毎年好評をいただいている庄巻のパフォーマンスも健在! ダンサーと一緒にダンスレッスンを体験できるコーナーもあります。ご家族皆様ぜひこの機会にご参加ください!
また昨年、大好評のうちに幕を閉じたTAHITI ORA JAPAN TOURの2015年公演が開催決定! 2015年11月に名古屋、東京公演を予定しております。お楽しみに!

現地ミュージシャンによる「タヒチアンミュージックライブ」も開催!
タヒチを代表する人気ミュージシャンが「タヒチアンミュージックライブ」をタヒチフェスタで開催!
タヒチの地ビール「ヒナノビール」を飲みながら、本場のミュージックライブを堪能!

タヒチでも人気の名店や地元の工芸品などが期間限定で出展。体験コーナーや様々なブースに加えてお子様も楽しめるコンテンツも充実。タヒチを感じながら毎日お楽しみいただけます。

Pink Coconut Teiva LCがオーナーのタヒチの名店「Pink Coconut」が期間限定出展!! 店内に入らない伝統的な工芸品を期間限定で販売!

タヒチ伝統工芸品 バンダナスの葉やタヒチアンパール、その母貝を使用したタヒチでしか手に入らない伝統的な工芸品を期間限定で販売!

HIYANO BEER タヒチフェスタ限定オリジナルラベル付のヒナノビールを限定販売!! ヒナノビールを飲みながらタヒチアンミュージックを楽しもう!

MONOI OIL タヒチの伝統的な香油「モノイオイル」14種類のラインナップを揃えて販売、お好みの香りをぜひ見つけてください!

TAHITI FESTA 主催:株式会社タヒチプロモーション
共催:森ビル株式会社
後援:エアタヒチヌイ、タヒチ観光局
協力:株式会社アムラックストヤ

名: Tahiti Festa 2015 お台場VenusFort
日時: 2015年9月19日(土)~23日(水・祝) 11:00~21:00
場所: お台場VenusFort / パレットプラザ / MEGA WEB
内容: タヒチアンダンスステージ、マルシェ(物販)、タヒチアンフォークギャラリー、ルロット(飲食)、タマリイ(子どもコンテンツ)、タヒチDEビゴ、他
※内容及び出演者は変更となる場合がございます。

〒221-0844 神奈川県横浜市神奈川区元港3-1 東真ビル2F
TEL: 045-321-0693 <http://tahihi.co.jp>
タヒチプロモーション 検索

Dance Channel

ダンスチャンネル



2015年秋
放送決定!!

日本初! タヒチアンダンス番組が
ダンスチャンネルに登場!!



ダンスチャンネルとは

日本初! ダンス専門テレビ局。タヒチアンダンス、フラに加えて、子供でも楽しめるキッズダンス番組や、K-POPダンス番組、エクササイズ番組など、ダンスの楽しさがたっぷりつまったチャンネルです。スカパー!プレミアムサービスのほか、スマートフォン、パソコン、タブレットでも視聴可能です。

番組の詳しい情報は

ダンスチャンネル

検索

<http://dance-ch.jp>



[@dance-ch]
でID検索



「ダンス
チャンネル」
にいいね!



[@dancech_tv]
をフォロー

監修・協力
TAHITI
PROMOTION